

	岬町健康づくりに関するアンケート調査<成人>	岬町健康づくりに関するアンケート調査<乳幼児>	岬町健康づくりに関するアンケート調査<小学生>	岬町健康づくりに関するアンケート調査<中学生>	岬町健康づくりに関するアンケート調査<高校生>	全体に対するご意見
①	なし	なし	なし	なし	なし	詳細なアンケート項目にもとづいた結果を拝見し、とても良く分析できていると感じました。 また年代別、性別により興味深い結果を認識する事ができました。 今後の住民生活や町行政への政策提言など、大いに参考にさせていただきます。
②	なし	なし	今年1-3年保護者を対象にしたものだったが、不登校など高学年になると急に学校に行かなくなったと聞くこともあるので高学年対象の結果も気になった。	アンケートの回収率が低かった。高校生は配布・回収とあったので、対保護者のアンケート出なければ学校で実施してもよいのでは。	なし	岬町で医療費がかかっている件で、長期治療が必要な病気などにならないための検診、体を定期的に動かしたりの重要性をアンケートからも感じました。30-40代が時間がなく運動ができないうの結果に結婚や出産などした成人が運動しやすく、そのまま運動が習慣になるような者があるとよいのでは？と思いました。
③	P3 性別は男性を先にもってくるか、グラフの並びを変えるか、他のように○が最も高くを入れるかした方が良いのでは。 他は○○が最も高く、という前置きがあるので、多いところから表現しているとわかるが性別だけはそうっていない。	なし	なし	なし	なし	「岬町 健康づくりに関する現状について」内、P11 感染症拡大に伴い、人々の・・・影響をもたらしました。の部分の表現について、「感染拡大が、・・・影響をもたらしました。」or「感染拡大に伴い・・・生活スタイルが大きく変化しました。」かどちらかに変更したほうが良いのでは。
④	20-50代の定期歯科検診の率が低い。	子どもの健康について、虫歯に関心が高く、実際毎日歯みがきに取り組んでいるのは良いことである。	健康づくりのために取り組んでいることで毎日の歯みがきが最も高くなっていることは良いことである。	喫煙の経験が多いことに驚いた。 タバコ、お酒の年齢を意外と知らない。	スマートフォンの使用が4時間以上になっていて、健康への影響が心配である。	なし
⑤	興味を引いたのは食育に関心を示す割合が65.6％と、ある程度高いにもかかわらず食生活が改善されていない（改善したいと思う）が62.2％、食生活に問題を抱えているが63.5％を示している。これは啓発、教育が十分に引き届いていないことからきているのか？ 歯の状態について、検診率が全体（n=463）で44.5％、70代以上（n=90）の高齢者で52.2％と高いが、これは住民健診や後期高齢者検診、町民検診での値か、もしくは歯牙疾患での受診率なのかわからない、この1年間の歯科検診率（対象n=206）も95.6％であるが、この算出根拠は上記と同様化か？ そのほか、健康づくりに特に未成年の妊娠、出産が欠けているようだが、未成年者が自身の妊娠に無関心、学習不足で母子手帳の交付失念、検診未実施が出生児の不幸に結びつくことが大いに考えられる。	回答者135人の保護者の乳幼児に対する育児、健康管理は概ね感心、納得できる部分が多い。 しかし睡眠についてはもう少し工夫がほしい。広島大学の林教授（睡眠学）によれば生後6か月児で12～14時間、1歳児で11～13時間、2～5歳児で10～11時間、6歳児で8.5～10.5時間とある。調査結果では就寝時間もやや遅く、睡眠時間ももっと取ってほしいと感じた。 また、運動・外遊びの時間が少ないように感じたのは少子化やコミュニケーション不足もあるのではと感じた。	小学生、中学生の回答率が低いのは気になることであるが、小学生における食生活、食育もおおむね良好と感じた。ストレスの項の各設問の中で、全くないが高率を占めるのは喜ばしいことであるが、神経過敏、絶望的、落ち着かない、気分消沈、骨折りだなどで6.6～28％を占めているが、これらの数字に対して保健衛生の観点からカウンセリング、モニタリングは必須ではないだろうか 睡眠については7～9時間が60％内外であるが、2015年、NHKの国民生活時間調査では小学生の平均睡眠時間は8時間35分であり、2001年石原の小学生2900名対象の「子どもたちの睡眠不足感」では59.4％が不足、やや不足と出ているが、岬町の小学生は概ね睡眠時間は十分にとっているように思われる。	中学生の回答率が極端に低いのは配布数も少なくデータとして意味を成すのだろうか疑問を感じる。 食生活の調査は良好である。ストレスについては小学生、中学生で大きな差は感じなかったが、ストレスを感じたことがあったかの設問ではやはり中学生の方が高率となっている。ストレスの相談相手は小学生では家族が高率を占めたが中学生では100％友人、知人に相談している。 睡眠時間は7～9時間が50％を占めている。2015年、NHKの国民生活時間調査では中学生の平均睡眠時間は7時間48分であり、2001年石原の中学生2985名対象の「子どもたちの睡眠不足感」では67.2％が不足、やや不足と出ているが、岬町の中学生は概ね睡眠時間は十分にとっているように思われる。	アンケート配布数に対し回収率82.7％はすべての各世代中良好な成績であった。 食育という言葉や認識、関心については中学生も高校生も有意な差は見られなかったように思う。無関心なのかもしれない？ 食事について顕著なのは朝食をとらないと回答する割合が朝食をとる割合より高いのは意外であった。その理由は朝食をとる時間がないということであるが、これには睡眠時間、就寝時間と連動していることが窺えた。 ストレスの設問について中学生と比較すると格段の差があり、2～3倍ストレスを感じている。これは中学生に比べ通学、受験や勉強、友人関係など個人を取り巻く環境が非常に厳しくなっていることを表している。 睡眠時間について調査では6時間未満が40.7％となっているが、2015年、NHKの国民生活時間調査では高校生の平均睡眠時間は7時間であった。また、2001年石原の高校生2365名対象の「子どもたちの睡眠不足感」では74.32％が不足、やや不足と出ている。睡眠不足は日中の眠気や招来、集中力の低下、持続性の低下、意欲の減退、落ち着きの欠如、イライラなどを引き起こすが、その原因は勉強もあるがテレビ、ゲーム、スマホ依存、ただ何となく時間を浪費というところにあり、夜型の生活をしているため慢性的な睡眠不足に陥ってしまっている。この解決には一日の生活リズムをきっちり24時間に修正し、朝、昼、夜と規則正しいメリハリのある生活に戻すことが肝要である。 なお、高校生の喫煙、飲酒の第一は家庭内の家族の喫煙、飲酒の環境と世代間連鎖、続いて友人関係に影響を受けることが大である。 今回の健康づくりアンケートで思うことは環境も大事であるが啓発教育もそれ以上に非常に大事であると感じた。	本調査結果であるが、比較として府下市町村或いは主要な都道府県のデータが付記されていると、より岬町の実態が分かってよかったのではないかと感じた。また、健康づくりに精神衛生や未成年の妊娠、出産並びにこどもの発達などが欠けているようだが、これらは何らかの取り決めがあって調査しないのであろうか？ 調査と記載があればもっと興味が引かれ実態がよく分かると思われる。
回答	③ グラフと説明の表現について検討いたします。 ④本町としても歯科検診受診率・受診者数の低迷を課題としているため、第3次計画の中で項目だてを行い、啓発・受診勧奨等勤めていきたいと思えます。 ⑤食育について関心がある人は多いが、生活で実践する段階にある人たちが少ないと考える。実践につながる情報が手に入るような環境づくりが必要と思えます。 歯科検診受診率は、住民健診や歯科受診内の定期健診などのすべてを含んだ受診率となっています。1年間の歯科検診受診率も算出根拠は同じです。 未成年の妊娠や出産に関する項目は、子育て支援課が策定する第2期みさき子どもとおとなも輝くプラン(みさき健やか親子2 1)に関する内容のため、そちらへの共有を検討いたします。	④町民の取組（スローガン）へ、毎日の歯磨き・日々の口腔ケアに関する内容を引き続き盛り込もうと思います。 ⑤厚生労働省からでている「健康づくりのための睡眠ガイド2023」に睡眠時間の目安や睡眠時間の確保の工夫について記載があるため、そちらを参考に計画への明記を進めていこうとおもいます。 運動や外遊びについては、「子どもの健康」についての項目だてが次期計画にありますので、その中にもりこむことを検討いたします。	②今後のアンケート実施で参考にいたします。 ④町民の取組（スローガン）へ、毎日の歯磨き・日々の口腔ケアに関する内容を引き続き盛り込もうと思います。 ⑤児童・生徒の精神保健衛生について、教育委員会とアンケート結果を共有し、子どもたちや家族への対応について現状確認、今後のよりよい対応の検討をすすめてまいります。 厚生労働省からでている「健康づくりのための睡眠ガイド2023」に睡眠時間の目安や睡眠時間の確保の工夫について記載があるため、そちらを参考に計画への明記を進めていこうとおもいます。	② ⑤岬町内の中学2年生全員を対象としましたが、回答者数が不十分な結果となりました。配布方法などについては今後の工夫につなげてまいります。 今回のデータが意味を成すのかについては、統計としては「誤差」が多いと言わざるを得ません。ただ、今回の結果は、傾向として読みとることは十分可能と言えます。 ④子どもの喫煙・飲酒行為は、学校の教育だけでなく、保護者・大人の教育も必要であるため。喫煙・飲酒ゼロのためにも薬剤師会との連携や家庭での取組目標といった視点の計画を検討します。 ⑤厚生労働省からでている「健康づくりのための睡眠ガイド2023」に睡眠時間の目安や睡眠時間の確保の工夫について記載があるため、そちらを参考に計画への明記を進めていこうとおもいます。	④スマートフォン等のデジタル機器の利用については睡眠時間の減少、それによる心身の健康につながる内容のため休養や睡眠の項目での掲載を検討いたします。また、子育て支援課が策定する第2期みさき子どもとおとなも輝くプラン(みさき健やか親子2 1)でも取扱いがあるため、そちらへの共有を検討いたします。 ⑤厚生労働省からでている「健康づくりのための睡眠ガイド2023」に睡眠時間の目安や、テレビやスマホ等のデジタル機器の利用、睡眠とストレス・食事・生活リズムの関連について記載があるため、そちらを参考に計画への明記を進めていこうとおもいます。 生徒の精神保健衛生について、教育委員会や高校とアンケート結果を共有し、生徒や家族への対応について現状確認、今後のよりよい対応の検討をすすめてまいります。 子どもの喫煙・飲酒行為は、学校の教育だけでなく、保護者・大人の意識改革も必要であるため。喫煙・飲酒ゼロのためにも薬剤師会との連携や家庭での取組目標といった視点の計画を検討します。	②運動について、住民と実施した運動に関するグループヒアリングの結果も踏まえて関係各所と運動の習慣化・運動する場の提供を考えてまいります。 ③ 文章表現について、検討いたします。 ⑤計画書への記載の際に全国や府全体との比較を載せることは検討しています。